

# おおづかみ！大学入試の流れ

2022/4/11

9月

## 共通テスト出願

9月末～10月上旬

## 総合型選抜【国公立】【私立】出願9月～ →試験

「学力の3要素」だけでなく、面接・小論文や実技、書類審査、自己PRなどで、受験生の個性や適性、意欲などを総合的に評価し、アドミッション・ポリシー（大学が求める学生像）に見合った人物かを評価する。一定の評定平均値を求める場合もある。共通テストを活用する場合もある。多くは「合格したら必ず入学する」という専願制の入試である。

10月

11月

## 学校推薦型選抜【国公立】【私立】出願11月～ →試験

①公募制と②指定校制の2種類。学校長が学校として生徒を推薦するものであるため、入学後、真面目に努力することを約束できなければ、推薦することはできない。責任重大。推薦に値するかどうかは、校内選考会議で審議選考する。共通テストを活用する場合もある。多くは「合格したら必ず入学する」という専願制の入試となっている。

①**公募制** 大学が提示した出願条件を満たす人について、高校の成績や活動ぶり、面接・小論文や実技、書類審査、自己PR、学力検査などを総合して可否を判定する。求められる評定平均値は、総合型選抜に比べ、高い場合が多い。

②**指定校制** 大学が、過去の入学者数や入学後の成績などを見て、高校を指定する。指定された高校からは、人数を限って出願をすることができる。募集人員は少ない。大学は指定した高校を信用して受験者を合格させるため、合格者は大学を卒業するまで、重責を担うことになる。国立大には原則として、指定校推薦はない。前年までの入試実績や入学後の成績などによって、指定を受けたり、取り消されたりする。面接・小論文や書類審査などがある。

12月

1月

## 共通テスト 1月中旬

2日間にわたって行われる、マーク式の試験。合否判定に利用する大学は多く、受験する大学が求める科目を受けなければならない。理科と社会は、出願の時点(9月末)で、何科目受験するのか、確定させておく必要がある。

**【国公立大一般選抜との関係】** 一般的に「共通テスト+2次試験(大学ごとの個別学力試験)」で合否を判定する。共通テストでは5教科7科目を求めることが多いので、苦手教科をつくらないことが大切(地理歴史・公民を併せて1教科と数える場合)。

**【私立大との関係】** 私立大の入試にも、共通テストの成績を活用できることがある。共通テストが必須の場合もある。

2021年度大学入学共通テスト 出題教科・科目一覧

教科	科目
国語	『国語』
地理歴史	『世界史A』『世界史B』『日本史A』『日本史B』『地理A』『地理B』
公民	『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』
数学	① 『数学Ⅰ』『数学Ⅰ・数学A』
	② 『数学Ⅱ』『数学Ⅱ・数学B』『簿記・会計』『情報関係基礎』
理科	① 『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』
	② 『物理』『化学』『生物』『地学』
外国語	『英語(リーディング・リスニング)』
	『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』

※地理歴史と公民…最大2科目選択(同一名称の選択不可)

※数学①…1科目選択 ※数学②…1科目選択

※理科…8科目からA～Dのいずれかを選択する(同一名称の選択可)

A 理科①から2科目 B 理科②から1科目

C 理科①から2科目及び理科②から1科目

D 理科②から2科目

※外国語…5科目から1科目を選択

\* 配点や試験時間等は、自分で調べよう\*

## 一般選抜

【私立】

出願→試験

1月～3月

【国公立大との比較】 決まった入試日程が設定されておらず、各大学が自由に入試日程、選抜方式を定める。同じ大学を複数回受験することができる。試験日が重ならなければ、何校でも受験できる。

国公立大学を受けた上で、私立大を受験することもできる。共通テストの成績を活用できることがある。

【国公立】一般選抜 出願1月下旬～2月上旬

2月

セット

3月

## 一般選抜【国公立】

前期日程 2月下旬

中期日程 3月上旬

後期日程 3月中旬

個別二次試験とも呼ぶ。大学の求める教科科目の学力試験のほか、芸術やスポーツでは実技、医療系では面接などが課されることもある。前期、中期、後期に1校ずつ出願することができる。ただし、国立大であっても、前期と後期の両方を設定していない場合もある。中期日程は一部の公立大のみ(国立大には中期日程はない)。前期で合格し入学手続きを行った場合、中期や後期を受けても、合格の権利を失うため、第1志望は前期日程で受験する必要がある。

\* 合否が決まる時期は、選抜方式や大学によって異なります。気になる大学のものを調べてみましょう。

\* 以下の例のように、民間の英語資格・検定試験の活用する場合があります。志望大学の活用例を調べ、積極的に受験しましょう。

(例1) 基準を満たしていなければ受験することができない。(例2) 基準を満たしていれば点数に加点される。(例3) 基準を満たしていれば特定の試験が免除される。

\* 日本の4年制大学を例に説明していますが、短期大学や専門学校、専門職大学、海外大学などもあります。公務員や民間就職、海外大学の概要も調べてみましょう。